


令和7年度 志布志港ポートセミナー



鹿児島県
志布志港

令和7年10月29日
鹿児島県

目次



1. 志布志港について

2. 輸出入促進について

3. 長期構想・港湾計画について

1. 志布志港について

志布志港の概要

鹿児島県内の港湾数

◎ 重要港湾	5港
地方港湾	126港
○ 県管理	41港
□ うち避難港	2港
市町村管理	85港
合計	131港

[県管理港湾 46港]



【川内港】

○東アジアに近い県西部の国際物流拠点

・外貿コンテナ定期航路 2航路週4便

【鹿児島港】

○本州各地や県内離島を結ぶ県内の人流・物流の拠点
○畜産を支える飼料の輸入・配送拠点
○国際クルーズの受入拠点

・トウモロコシ輸入量：89万トン(全国8位)
・国内フェリー・RORO航路：11航路週64便
・クルーズ船寄港数(R6)：105回(20.5万人)

【志布志港】

○太平洋に面し東南アジアに近い地理的優位性を有する県東部の国際物流拠点
○背後の農畜産業を支える飼料の輸入・配送拠点「国際バルク戦略港湾(穀物)」
○産地と海外を直航サービスでつなぐ「産直港湾」

・トウモロコシ輸入量：168万トン(全国2位)
・外貿コンテナ定期航路：4航路週8便
・国内フェリー・国内RORO航路：4航路週18便

志布志港の概要



南九州地域における「国内外との物流拠点」「飼料供給基地」として、背後地域の産業を支えています

志布志港の周辺状況



国内定期航路

船社	航路	寄港地	船名	トン数	便数
(株)商船三井さんふらわあ (フェリー)	大阪航路	大阪南～志布志	さんふらわあさつま	13,659	7 便/週
			さんふらわあきりしま	13,659	
マルエーフェリー(株) (RORO船)	東京・沖縄航路	東京～(名古屋)～油津～志布志～那覇	琉球エクスプレス3	10,034	東京行 3 便/週
			琉球エクスプレス7	13,631	沖縄行 1 便/週
	阪神・沖縄航路	大阪～志布志～名瀬～那覇	琉球エクスプレス2	10,758	大阪行 2 便/週
		大阪～神戸～志布志～那覇	琉球エクスプレス5	10,034	沖縄行 2 便/週
南日本汽船(株) (貨物船)	沖縄航路	志布志～鹿児島～中城湾	(貨物船)	(498)	沖縄行 1 便/週



商船三井さんふらわあ



南日本汽船株式会社



※R7.9 現在

A"LINE



外貿コンテナ定期航路

神戸港，釜山港等での
トランシップにより，
世界各国との輸送が可能

航路	船社	船種	便数
台湾航路	愛媛オーシャンライン(株)	コンテナ船	1便/週
	長錦商船(株)	コンテナ船	2便/週
韓国航路	CMA CGM	コンテナ船	1便/週
	高麗海運(株)	コンテナ船	1便/週
中国航路	神原汽船(株)	コンテナ船	2便/週
国際フィーダー航路	井本商運(株)/OOCL	コンテナ船	1便/週



出典：(上)愛媛オーシャンラインHP (下)井本商運HP

国際コンテナターミナル(新若浜地区)

【CIQ機能】

税 関：長崎税関鹿児島税関支署 鹿児島出張所
検 疫：福岡検疫所 鹿児島空港出張所
植物検疫：門司植物検疫所鹿児島支所 志布志港出張所
動物検疫：動物検疫所門司支所 鹿児島空港出張所
出入国管理：福岡出入国在留管理局 鹿児島出張所

リーファーコンセント50口

ガントリークレーン2基

岸壁：水深-14m 延長：360m

充実した港湾施設を整備

志布志港周辺の状況(高規格道路の整備)



令和7年3月
都城志布志道路が全線開通

【全線開通による時間短縮効果】

○都城志布志道路【都城IC～志布志港】

整備前 約70分



↓ 30分短縮

整備後 約40分



期待

周辺交通ネットワークの整備の進展, 志布志港へのアクセス性が向上

モーダルシフトへの対応や温室効果ガスの削減に寄与

2. 輸出入促進について

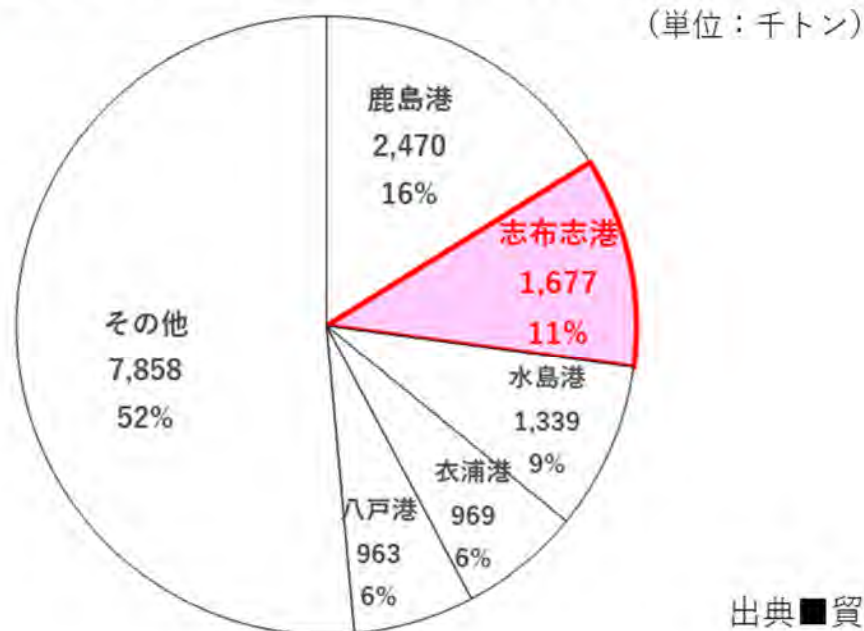
コンテナ取扱量



外貿コンテナ取扱量は九州第3位
(博多港, 北九州港に次ぐ)

とうもろこしの輸入(配合飼料原料)

■とうもろこし輸入量の全国シェア(R6)



肉用牛(黒毛和種)生産量全国 1 位



豚 生産量全国 1 位

■配合・混合飼料の生産量・全国シェア(R5)

順位	R 5 年度		
	都道府県名	生産量	全国 シェア
1 位	鹿児島県	4,253	17.8%
	うち志布志	2,784	11.6%
2 位	北海道	4,049	16.9%
3 位	茨城県	3,990	16.7%
	全国	23,937	100.0%

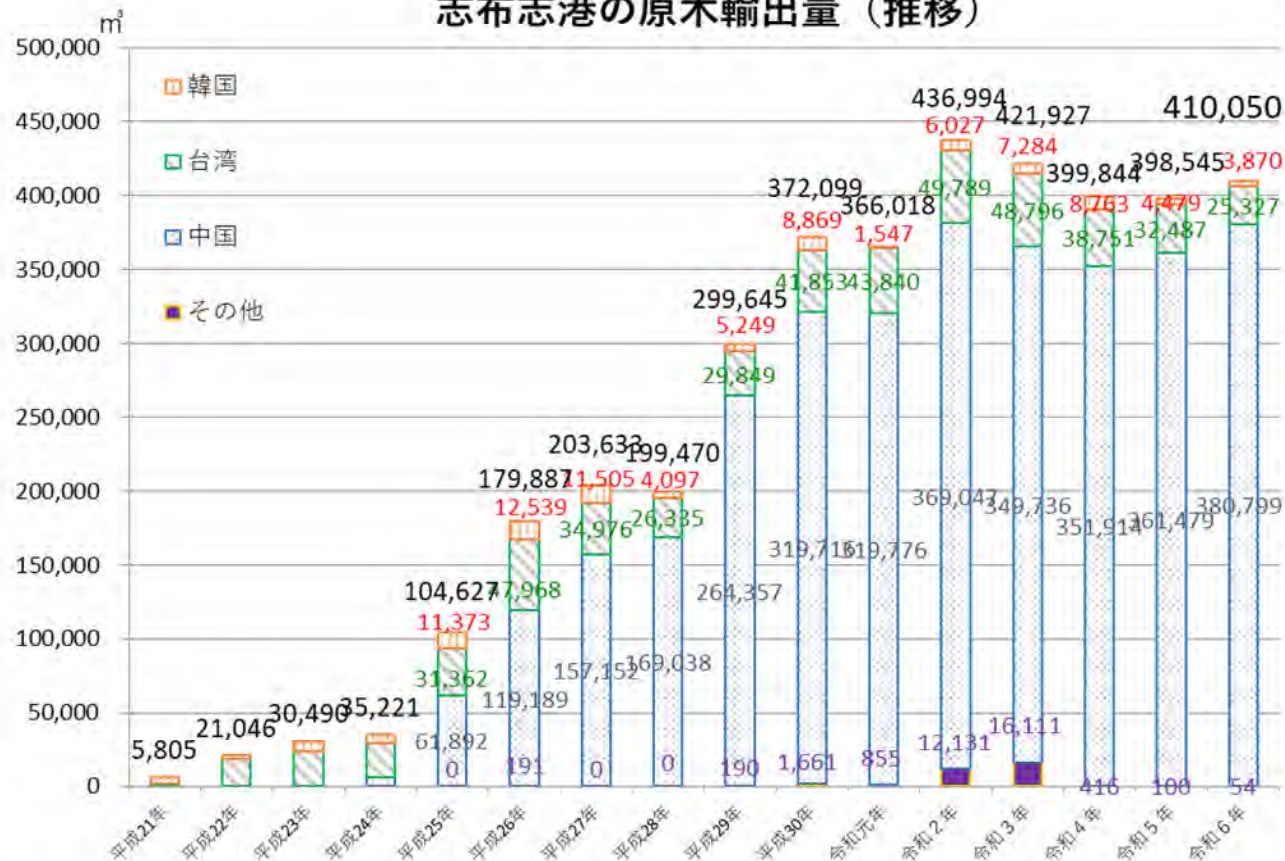


ブロイラー 生産量全国 1 位

原木取扱量の推移

15年連続日本一（H22～）

志布志港の原木輸出量（推移）

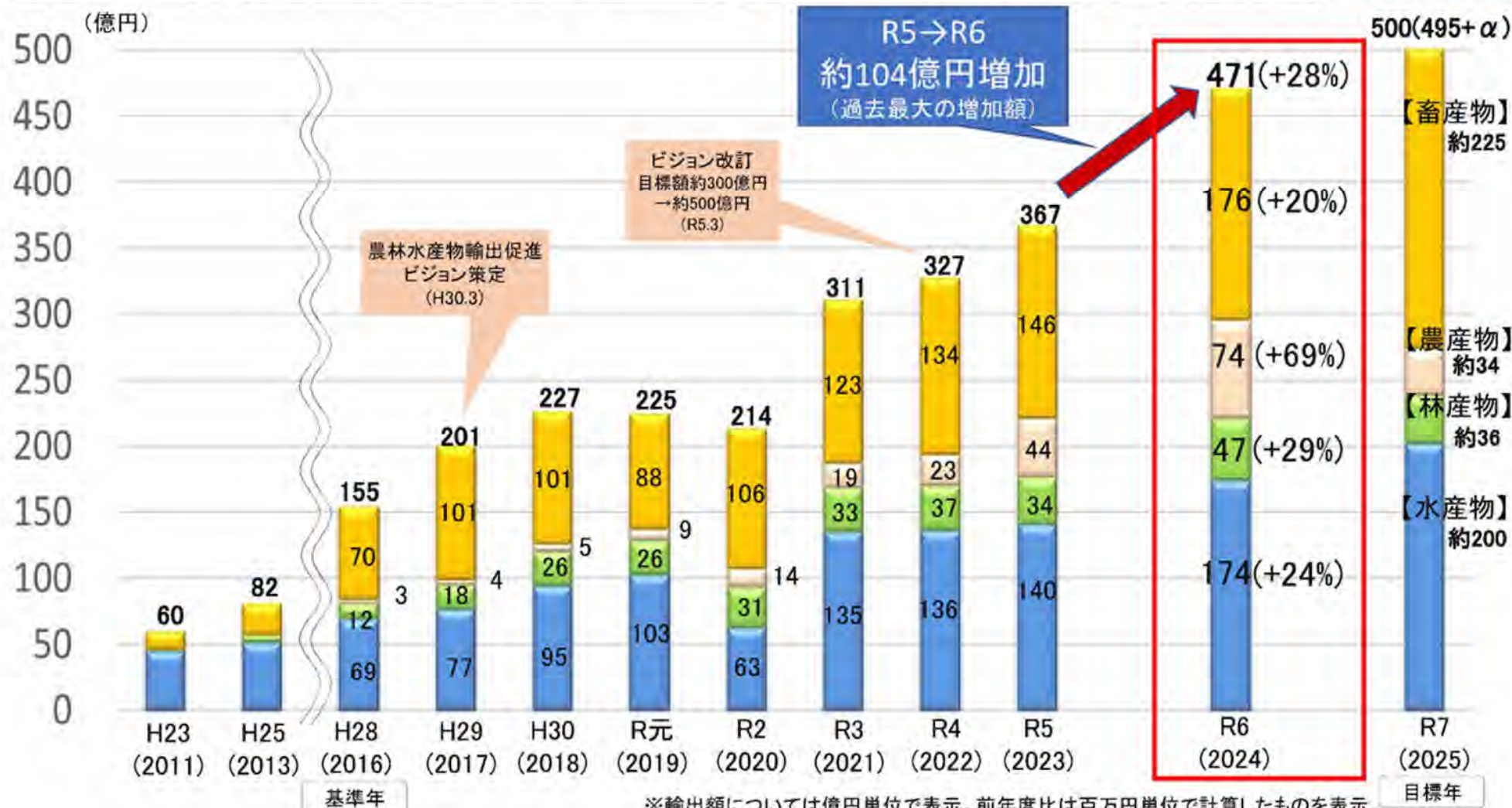


背後地に豊富な森林資源を有し、
志布志港からの令和6年の原木輸出量は約41万m³で**全国1位**

県産農林水産物の輸出額の推移

- 令和6年度の県産農林水産物の輸出額は、前年度から約104億円増加(前年度比28%増)し、約471億円となりました。
- 農林水産物全ての部門で輸出額が増加し、令和3～5年度に引き続き、公表開始以降最高額を更新しました。

ビジョン目標額
約500億円
(H28比約3.2倍)



食の宝箱(背後圏は国内有数の農林水産物の生産地)

第12回
全国和牛能力共進会鹿児島大会 (R4.10月)
2大会連続で「**和牛日本一**」



志布志のお茶畑



志布志のお茶畑



志布志港から農林水産物・食品の輸出を促進(産直港湾『志布志港』)

- ◆ 志布志港では、背後地域が農林水産物の一大生産地となっているポテンシャルを最大限発揮させるため、国土交通省と農林水産省が連携して取組を進める「産直港湾」制度を活用し、農林水産物・食品の輸出促進に取り組んでいます。
- ◆ 全国で3港目の産直港湾として、大ロット輸出産地の形成に向けた輸出環境の強化を図るべく、新若浜地区国際コンテナターミナル内の公共上屋に温度・衛生管理が可能な荷捌き施設（冷凍・冷蔵倉庫／ドックシェルター等）を新たに整備することとしています。

“産直港湾”制度

港湾やその近傍で不足している輸出機能を強化することを目的として、港湾管理者などから申請された「**農林水産物・食品輸出促進計画**」が国に認定されることによって、同計画に定められた小口貨物等の積替円滑化施設やリーファーコンテナ電源供給施設の整備への支援等を受けられる。

“農林水産物・食品輸出促進計画”の概要

[主な対象品目]

主な品目	産地
【畜産物】牛肉、豚肉、鶏肉等	鹿児島県及び隣県
【農産物】キャベツ、大根、柑橘類、お茶類	
【林産品】製材、合板等	
【水産品】養殖ブリ・カンパチ等	
【その他】加工食品（味噌、醤油、焼酎等）	

[ターゲット]

アメリカ、香港、中国、台湾 等

[目標]

志布志港における農林水産物・食品の輸出額

令和3年(2021年) 実績額：21億円
 約1.7倍
 令和12年(2030年) 実績額：36億円

▼新若浜地区国際コンテナターミナル



公共上屋

▼全国で3港目となる産直港湾「志布志港」



▲▼今後、公共上屋内に整備予定の冷凍・冷蔵倉庫のイメージ



- Potential -

鹿児島県産農林水産物の輸出額
 471億円(R6) 過去最高額

産業 全国2位 5,438億円(R5) 木材 全国8位 85.2億円(R5) 漁業 全国5位 768億円(R5)

生産者 お茶(茶葉) 全国1位 養殖ブリ・カンパチ 全国1位 ウナギ 全国1位
 クロマグロ 全国3位 かつお節 全国1位
 製造 肉用生(和牛) 全国1位 豚 全国1位 採卵鶏 全国3位 ブロイラー 全国1位
 収穫者 さつまいも / さやえんどう / ハッシュンフルーツ / オクラ / たんかんなど いずれも全国1位

新規利用を支援(輸出入促進トライアル事業)



近隣港湾利用によるリスク分散

モーダルシフトによるグリーン物流

陸上輸送コストの削減

トラックドライバー不足への対応

県内港湾（志布志港・川内港）の更なる利用促進を図るため、荷主企業の皆様が志布志港や川内港を利用して輸出入を行う際、コストやリードタイムの検証などの運送実験に係る経費の一部を補助します。

補助対象	対象経費	補助率	上限額
荷主企業	海上輸送費, 国内陸上輸送費, 国内荷役料, 梱包料, 輸出入諸経費	1 / 2 以内	1 事業者につき 輸出：150万円 輸入：75万円

3. 長期構想・港湾計画について

長期構想とは・・・

○概ね20年から30年先の港の将来を展望する 長期的な構想

【背景・課題・社会情勢の変化】

前回の志布志港港湾計画の改訂（平成5年）以降・・・

- 船舶の大型化
- 原木取扱量の増加
- 東九州自動車道等の交通ネットワーク整備の進展
- 賑わい空間の創出（市街地との回遊性） など

これらの課題等に対応するため・・・



志布志港長期構想を策定（令和7年3月）

志布志港長期構想＜概要版＞

基本理念

～ 地域の**ポテンシャル**と**稼ぐ力**を引き出す、
世界に開かれた**“志”**あふれる **志布志港**～

目指す姿

物流・産業



国内外とつながり、地域の経済と暮らしを支えるみなと

人流・賑わい



人と人がつながり、魅力や賑わいにあふれるみなと

安全・安心



住民や企業活動の安全・安心を支える強靱なみなと

環境・エネルギー



サステナブルな社会の実現をリードする環境にやさしいみなと

PORT of SHIBUSHI

長期構想とは

<背景>

- ◆ 志布志港は、九州南東部の太平洋に面した地理的優位性と国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後に有し、国内外の物流拠点、飼料供給基地として背後地域の**産業・経済を支える重要港湾**である。
- ◆ 昭和47年に港湾計画を策定し、直近の平成5年の改訂や、その後の一部変更等により**国際的な流通機能の充実を図るべき港湾**として位置づけ、整備を進めてきた。

<目的>

- ◆ 港湾を取り巻く環境の変化に対応するため、総合的な港湾空間の形成とあり方について、**目指すべき将来像**やその実現に向けた**空間利用計画、施策**などを「志布志港長期構想」としてとりまとめるものである。

<目標年次>

- ◆ 概ね**20年から30年先**



令和7年3月
鹿児島県

環境の変化

- ・農林水産物・食品輸出の増加
- ・道路交通ネットワーク整備によるアクセス性向上
- ・原木等取扱貨物の増加
- ・トラックドライバーの労働規制によるモーダルシフトの進展
- ・DXの進展, eコマース市場の急成長



【取組方針】

農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備

モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化

穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成

港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用

物流・産業

【基本戦略】

県内及び南九州地域の安定的な物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成



環境の変化

- ・インバウンド需要の増加
- ・港における賑わい・水辺空間の不足
- ・海釣り需要の高まり
- ・緑地公園の低利用化



【取組方針】

地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成

賑わいと活気のある観光振興の推進

人流・賑わい

【基本戦略】

背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成



環境の変化

- ・地震・津波等の自然災害リスクの高まり
- ・気候変動による影響
- ・既存インフラの老朽化, 維持管理費の増大

安全・安心

【基本戦略】

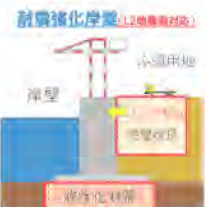
災害対応力の向上による安全かつ安定した防災拠点の形成

【取組方針】

大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現

津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現

既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持



環境・エネルギー

【基本戦略】

環境に配慮した港づくりと背後地域の脱炭素化を先導するカーボンニュートラルポートの形成

環境の変化

- ・脱炭素社会の実現に向けた取組
- ・カーボンニュートラルポートの形成
- ・臨海部産業におけるエネルギー転換の要請



【取組方針】

脱炭素社会の実現に向けた港湾空間の形成

臨海部産業における脱炭素化の実現, 次世代エネルギー受入環境の創出

生物多様性による豊かな海の実現



I. 物流・産業（取組方針：農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備）

施策Ⅰ-①：国際コンテナターミナルの機能強化

<具体施策の内容>

- ・コンテナ蔵置等のための用地不足解消のため、コンテナターミナルの拡張を図ります。
- ・農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、既存上屋を改修して冷凍・冷蔵施設等の整備を行います。



出典：鹿児島県 HP「志布志港における農林水産物・食品輸出促進の取組」より

図 6-1 コンテナターミナル内の既存上屋



図 6-2 既存上屋の改修のイメージ

I. 物流・産業（取組方針：農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備）

施策Ⅰ-③：外貨定期コンテナ航路の拡充

<具体施策の内容>

- ・船社や荷主企業、商社等に対し、官民一体となったポートセールスやセミナーを開催するなど積極的なPR活動に取り組みます。
- ・県産品などの海上小口混載貨物輸送等、志布志港の利用促進を図るための支援を実施します。



図 6-7 ポートセールス活動・セミナーの開催・PRポスターによる魅力発信



新たに
志布志港を活用して、
海外に輸出したい

志布志港湾振興協議会

図 6-8 志布志港の利用促進のためのトライアル事業

I. 物流・産業（取組方針：農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備）

施策 I-④：バルク貨物（林産品）ターミナルの形成

<具体施策の内容>

- ・点在する原木ヤードを集約するため、新若浜地区に新たにバルク貨物（林産品）ターミナルを整備します。
- ・持続可能な林産品輸送体制の構築を検討します。



図 6-9 林産物輸出拠点ターミナルのイメージ

I. 物流・産業（取組方針：モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO 輸送能力の強化）

施策 I-⑤：次世代高規格ユニットロードターミナルの形成

<具体施策の内容>

- ・外港地区にフェリー機能、新若浜地区にRORO機能を移転し、利便性・安全性の向上を図ります。
- ・モーダルシフトを促進する次世代高規格ユニットロードターミナルの形成を図ります。
- ・情報通信技術を活用した効率的なシャーン管理システムの導入を図ります。



図 6-10 フェリー・RORO 機能の移転候補地と次世代高規格ユニットロードターミナルのイメージ

①入退管理機能が撮影による車番の読取



②車両損傷確認機能が撮影による損傷状況の記録



③車両位置管理機能が撮影による車両の追跡



図 6-11 情報通信技術を活用した効率的なシャーン管理のイメージ

人流・賑わい 人と人がつながり、魅力や賑わいにあふれるみなと

基本戦略 背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成

Ⅱ. 人流・賑わい (取組方針：地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成)

施策Ⅱ-①：地域に開かれた緑地公園の拡充

<具体施策の内容>

- ・低利用となっている若浜地区の緑地公園をフェリー機能の移転に合わせて、市街地に近接している外港地区に移転し、志布志湾の景観を一望できる緑地を配置・整備します。
- ・外港地区へのフェリー機能の移転に伴い、フェリーターミナルを核とした賑わい空間の創出や臨港道路沿いの景観に配慮した緑地空間の形成を図ります。
- ・移転後の緑地は、市民や来訪者の憩いの場・親水空間としての形成を図ります。なお災害時においても安全・安心な環境となるよう防災面にも配慮します。

防災面に配慮された緑地のイメージ



出典：清水港客船誘致委員会 HP

景観に配慮した緑地のイメージ



千葉港



図 6-14 緑地公園の移転

Ⅱ. 人流・賑わい (取組方針：地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成)

施策Ⅱ-③：クルーズ船の受入環境整備

<具体施策の内容>

- ・中小型クルーズ船は若浜地区旅客船心頭、大型クルーズ船は外港地区での受入を図ります。
- ・ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境を整備し、積極的な寄港誘致を促進します。
- ・寄港地観光として大隅地域の魅力ある地域資源や歴史的資源を活用し、広域周遊が可能なツアーメニューの造成を促進します。



図 6-19 「につぽん丸」寄港時の様子(令和4年11月)



図 6-20 大隅地域の地域資源・イベント・歴史的資源

基本戦略 災害対応力の向上による安全かつ安定した防災拠点の形成

Ⅲ. 安全・安心（取組方針：大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現）

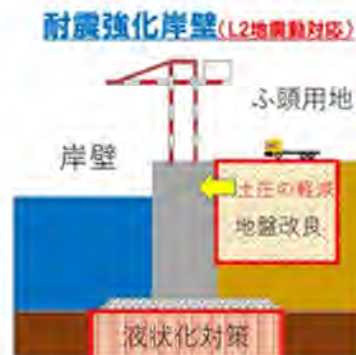
施策Ⅲ-①：災害に強い港湾施設・輸送網の形成

<具体施策の内容>

- ・幹線貨物等の輸送拠点としての機能向上を図るため、耐震強化岸壁を整備します。
- ・長周期波による港内水域への影響分析を行い、静穏度向上に向けた対策を検討します。



図 6-24 バルク岸壁（耐震強化岸壁）の整備・コンテナターミナル等の耐震化



出典：国土交通省港湾局「気候変動を考慮した臨海部の強靱化のあり方に係る参考資料」R5.6.28
交通政策審議会港湾分科会 第5回防災部会配布資料 資料5より

図 6-25 耐震強化岸壁整備による被災時の効果事例（令和3年福島沖地震）

Ⅲ. 安全・安心（取組方針：大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現）

施策Ⅲ-②：港湾施設等の整備に必要な不可欠な作業船の係留場所の確保

<具体施策の内容>

- ・港湾機能の維持、早期回復に必要な作業船の係留場所を外港地区に確保します。



図 6-26 作業船による漂流物の回収（令和2年7月豪雨への対応）



図 6-27 作業船を活用した電力関連会社の作業車輛等の海上輸送
（令和5年6月に奄美地方で発生した「線状降水帯」を伴う大雨への対応）

基本戦略 環境に配慮した港づくりと背後地域の脱炭素化を先導するカーボンニュートラルポートの形成

IV. 環境・エネルギー（取組方針：臨海部産業における脱炭素化の実現、次世代エネルギー受入環境の創出）

施策IV-②：臨海部産業の脱炭素化に貢献する港湾空間の創出

<具体施策の内容>

- ・水素等の次世代エネルギー関連産業を誘致するため、緑地公園などの若浜地区の産業集積エリアに隣接する土地の用途を変更します。



図 6-39 若浜運動公園跡地における次世代エネルギー受入整備のイメージ



図 6-40 臨海部の脱炭素化の例（水素の場合）

IV. 環境・エネルギー（取組方針：生物多様性による豊かな海の実現）

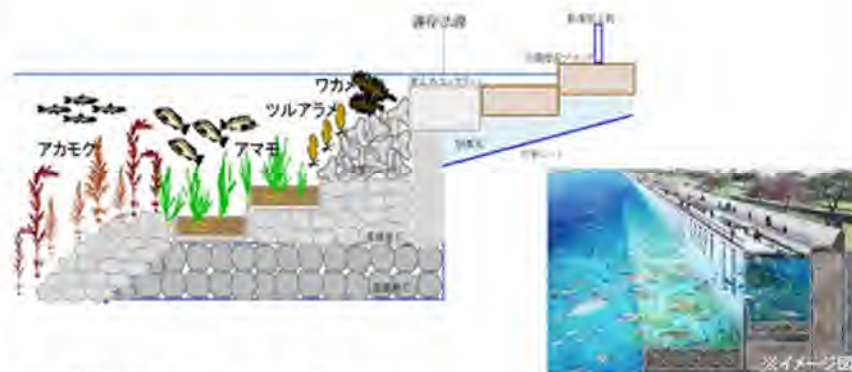
施策IV-④：環境に配慮したブルーインフラの導入

<具体施策の内容>

- ・CO2吸収促進に向けた藻場や干潟の造成を検討します。
- ・生物共生型港湾構造物を活用した港湾施設整備の促進による環境に配慮した港づくりに取り組みます。



図 6-42 ブルーカーボン生態系（藻場・干潟）



出典：国土交通省 HP「ブルーカーボン生態系について」

図 6-43 生物共生型港湾構造物

<凡例>

- 物流関連ゾーン
- 船だまり関連ゾーン
- 人流関連・交流拠点ゾーン
- 緑地レクリエーションゾーン
- エネルギー関連ゾーン



港湾計画改訂(案)の概要



御清聴ありがとうございました



問合せ先
鹿児島県土木部港湾空港課
TEL:099-286-3640

志布志港PR動画

